

明確になっていないこと、学会内の具体的な役割分担が明らかになっていないことなどが問題点としてあげられた。このことについて、引き続き検討することとなった。

7. 総会資料について

総会資料の検討が行われ、総会に承認を求めることとなった。

8. その他

7月に英国バーミンガムで開かれる IUGG 総会において、2003年総会の開催地として日本が決定されることがほぼ確実である。非公式ではあるが、気象学会から1名の組織委員長候補と2、3名の実行

委員を推薦してもらいたいという意向の話がすでにあった。今後、公式には、日本学術会議気象学研究会連絡委員会委員の木田理事が窓口となって対応する。5月18日に IUGG2003年総会準備委員会が開かれることになっている。そこで受けるであろう依頼を持ち帰って検討することになった。

以上の議事録の通り相違ありません。

社団法人 日本気象学会

議長 二宮洸三 印

署名人 村松照男 印

署名人 中村誠臣 印

2000年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」および研究助成候補者の募集

標記の会から、下記のお知らせがありました。気象学会では、7月ごろに「学会外各賞推薦委員会」を開催して「猿橋賞」への推薦者を選考する予定ですが、学会以外からの推薦も可能ですので、下記の要領で応募して下さい。賞・助成とも、詳細な応募要領と応募用紙は気象学会事務局にあります。

1. 猿橋賞

- (1) 対象：自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた女性科学者。下記締切日に50歳未満であること。
- (2) 表彰の内容：賞状、副賞として賞金30万円。毎年1件（1名）
- (3) 応募方法：所定の用紙に必要事項を書いて下記あて先へお送り下さい。

(4) 締切：1999年11月30日（必着）

2. 研究助成

- (1) 対象：海外シンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者。下記締切日に40歳未満であること。
- (2) 助成内容：1件10万円、毎年数件
- (3) 応募方法：所定の用紙に略歴、研究業績、国際会議名（主催団体・開催場所・年月日）、発表論文題目、推薦理由及び推薦者氏名・肩書きを書いて下記のあて先へお送り下さい。

(4) 締切：1999年11月末日と2000年4月末日の2回

3. 応募先：女性科学者に明るい未来をの会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

Tel・Fax：03-3330-2455